

## 平成17年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

### 1 議案

議案1 平成17年度主要事業進捗状況について

議案2 平成18年度予算(案)の概要及び主要事業について

議案3 その他

最近3カ年の火災状況

最近3カ年の救急出動状況

傷病程度別搬送人員

### 2 開催日時

平成18年2月14日(火) 15時00分～17時00分

### 3 開催場所

鎌ヶ谷市消防本部2階 会議室

### 4 出席者

#### (1) 委員

川上啓之委員(委員長)、土屋裕彦委員(副委員長)、佐藤誠委員、芝田裕美委員  
山田静雄委員、三橋幸夫委員、澁谷誠幸委員、高橋英毅委員、鈴木定夫委員

#### (2) 事務局

山影裕宏消防長、松原正一次長、小金谷利光副参事(警防課長)、皆川保則総務課長  
石井三郎予防課長、海老原亨鎌ヶ谷署長、川島正二郎総務課課長補佐、松本禎久庶務係長  
高橋順一主任消防主事、佐藤正人主任消防主事

### 5 開示・不開示について

開示

## 6 発言の要旨

皆川課長	傍聴の申し出は、無かったことを報告し、委員会条例第5条による会議成立を報告した。
川上委員長	委員長あいさつ。
山影消防長	執行部としてあいさつ。
皆川課長	会議録署名人は、今期継続の取り決めにより、山田委員及び佐藤委員であると報告した。
川上委員長	議案1の平成17年度主要事業進捗状況について説明を求めた。
松本係長	平成17年度主要事業進捗状況について説明。
川上委員長	各委員に質問を求めた。
佐藤委員	市民に対しての火災予防や救急講習等の状況について。
松原次長	自治会を対象に消防訓練・救急講習・普通救命講習、公募にて普通救命講習・上級救命講習を実施していること。また、平成16年度訓練実績について説明。
佐藤委員	緊急消防援助隊に要する経費の詳細について。
小金谷副参事	車両3台、隊員10名が出向し、旅費、消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料、手数料、通行料の予算額について説明。
消防長	補足、最長の北海道を想定した場合の必要経費となり。この予算を使用しない場合は残余となることを説明。
芝田委員	市内の救急隊の人数及び救命士の人数について。
警防課長	救急隊員にあっては30名、そのうち12名は救命士であることを説明。
芝田委員	ハートセイバーAEDコースに係る費用は職員対象の費用なのか。
警防課長	消防職員は使用頻度が高く、講習を受ける必要があるため、職員対象の費用であることを説明。
次長	補足、一般市民は講習を受けなくてもAEDを使用できるが、消防職員にあっては講習を受けなければ使用できないと国で定められていることを説明。
川上委員長	他に質問は無く、議案の承認の挙手を求めた。
各委員	全員挙手。
川上委員長	議案2、平成18年度予算(案)の概要及び主要事業について説明を求めた。
松本係長	平成18年度予算(案)の概要及び主要事業について説明した。
川上委員長	各委員に質問を求めた。
土屋委員	中央署耐震改修工事实施設計委託費用及び規模について。
総務課長	平成17年度に耐震診断、平成18年度に工事实施設計、19年度に補強工事を行う予定であることを説明。
川島補佐	補足、今年度実施した耐震診断の結果、阪神淡路大震災での基準値を0.75とすると、中央署2階部分では0.18、1階部分では0.48となっている。この数値を元に、平成18年度実施設計を行っていくことを説明。
次長	補足、平成20年度以降、くぬぎ山消防署にあっては実施していく予定であり、鎌ヶ谷消防署にあっては、平成以降の建物のため耐震診断を行う予定はない。平成19年度に実施される補強工事については、実施計画上3,500万円を予定しているが、

	18年度に予定されている工事設計により金額が前後する。また、17年度の耐震結果では、中央署の望楼を撤去し2階部分の補強をすることを説明。
佐藤委員	防火水槽解体撤去工事とあるが、代替えはあるのか。
小金谷副参事	周囲に消火栓等の水利が充実しているため、代替えによる設置予定はないことを説明。
佐藤委員	AEDの設置計画について
次長	平成18年度、市役所、総合福祉保健センター、市民体育館に設置予定であり、今後、民間、組合等でも設置する予定を説明。
佐藤委員	AEDの設置に伴い、民間への講習はどうなるのか。
警防課長	今年度、消防団から講習を実施することを説明。
次長	補足、年間12回の公募を行い。また、1回の講習での募集人数は20名程度となることを説明。
芝田委員	消防事務に要する経費の需用費の内訳は。
松本係長	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料について、予算計上額を説明。
芝田委員	燃料費の試算は。
松本係長	前年度の実績に、次年度分の増額を見すえて試算していることを説明。
消防長	補足、契約管財課にて単価契約を行っているが、燃料費の予算にあっては各款ごとに計上し、支払いすることを説明。
芝田委員	地図検索データ使用料の地図データとは常に1社との契約となるのか。
鎌ヶ谷署長	現在の指令台に対応した特殊なソフトであり、1社と契約していることを説明。
次長	補足、指令台導入時ゼンリンの地図とのリンクであるため、今後もゼンリンの地図を使用していくことを説明。
芝田委員	特殊なソフトであるため、入札による契約は行わないものなのか。
次長	現在のシステム上ゼンリンを使うしかなく、現在ゼンリンの地図検索ソフトが最も優れているため、今後も使用していく予定であり。契約的には随意契約となることを説明。
土屋委員	現在の指令台の次期更新はいつか。
川島補佐	平成23年度に要望したいと回答。
芝田委員	現在4台の救急車に、さらに1台増車するが、どこに配備されるのか。
消防長	鎌ヶ谷消防署に配備する予定であり、隊員は乗せ替えとなるが、車検や修理等があっても4台体制を確保することを説明。
高橋委員	消防の予算は市の予算なのか。
消防長	消防費とは市の予算であることを説明。
高橋委員	市の予算とはいくらで、消防の予算はいくらか。
消防長	一般会計歳出予算額、消防費歳出額を説明。
川上委員長	他に質問は無く、議案の承認の挙手を求めた。
各委員	全員挙手。
川上委員長	議案3、その他について説明を求めた。
警防課長	最近3カ年の救急出動件数について説明した。
消防長	救急出動の傾向について、収容状況は、市外70%、市内30%となっているが、

芝田委員  
消防長  
芝田委員

19年に市内中核病院が完成すれば、市内への搬送が増え、また、救急車の1回あたりの出動時間も減少することを説明。

搬送種別のその他とは。

主に転院搬送であることを説明。

東京消防庁では、救急でない内容の救急出動が増加しているが、鎌ヶ谷市にあってはどうなのか。

消防長

軽症は全体の50%弱であるが、診療結果であり救急車が必要であったかどうかは判断しかねる。また、受報時にそれを判断するのも困難であることを説明。

芝田委員  
消防長

高齢者が増加する中で、消防と福祉の連携が必要になると思われるが。

今後の課題であると回答。

川上委員長  
各委員  
川上委員長

他に質問等無く承認の挙手を求めた。

全員挙手。

質問等無く会議閉会を宣言した。

## 7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成17年 3月16日

氏名 山田静雄

氏名 佐藤 誠